

口 121 九州中南部に於ける明治維新以後の衣生活
和洋女子大文家政 廣目繪子

目的 日本各地の人々の生活は、明治維新という激動を境に、中央政府を中心とする大きな車の中に組みこまれていった。その時期経験した生活の変化が、どのようなものであったかということも明らかにするものが、本研究の目的である。今回は九州中南部の地域をとりあげた。

方法 県史、市町村史、民俗資料、及び和洋女子大学で施行した生活調査を主な資料とし、これに考察を加えた。

結果 この地域は、内陸部の比較的閉ざされた地域と、琉球貿易等で海外に目を向け、早くから近代産業に対する試みを行い、或は維新の立役者になる、と違った異なった二面を持つ地域を含む地域である。この標榜性格は、維新後の生活変化にも大きな影響が見られた。例えば、繊維業についても、士族援産を中心に展開する地域に対する機械導入、と言うような変化の違いである。このような特色をもつ地域での生活の変化を明らかにした。